

令和7年度 学校評価アンケートの結果・考察

※「そう思う」「大体そう思う」と答えたの割合

主体的に学ぶ子供			児童					保護者					教員		
			R5 平均	R6 平均	R7 平均	R7 基礎	R7 自立	R7 充実	R5平 均	R6 平均	R7 平均	R7 基礎	R7 自立	R7 充実	R7
①	わたしは、授業の内容をだいたい理解することができる。	基礎的基本的な学習内容の理解	88%	89%	92%	93%	91%	91%	新規項目	78%	87%	96%	90%	74%	97%
②	授業では、一人ひとりの興味関心に合わせて、課題や方法、発表の仕方等を選ぶ機会があった。	学び方の指導個に応じた支援	新規項目	86%	88%	91%	85%	86%			83%	91%	78%	76%	82%
③	わたしは、学校生活でチャレンジしてみたいことやできるようにしたいことを見つけることができた。	主体性の育成	85%	87%	87%	91%	81%	86%			80%	86%	74%	76%	95%
④	学校では、自分の生活や将来に役立つ学びができていると思う。	キャリア教育	90%	89%	94%	96%	90%	94%			88%	98%	83%	83%	98%
⑤	(お子さんは)自分の力を伸ばすために、工夫してチャレンジ学習や習い事に進んで取り組んでいる。	自己教育力	83%	83%	86%	93%	81%	80%	新規項目	73%	70%	71%	68%	70%	81%
⑥	わたしには、こうなりたいという夢や目標がある。	目標設定の力	84%	84%	85%	91%	82%	77%	68%	71%	82%	82%	87%	80%	88%

- ≪成果≫ ・児童生徒の授業に対する満足度は高く、また基礎的基本的な内容を理解していると感じている。
 ・夢や目標をもち、それに向かってチャレンジしてできていると回答する児童生徒が増えた。
- ≪課題≫ ・基礎的・基本的な学習内容の理解やチャレンジ学習の工夫という点では、児童生徒と保護者の回答に差がある。
- ≪改善案≫ ・児童生徒本人と保護者、学校とが同じ方向を向いて個々の学びを支えるために、チャレンジカード（初等部）やテストカード（中等部）、三者面談などの情報共有の場をより一層充実させる。

豊かな心で自他を大切にする子供			児童						保護者						教員
			R 5	R 6	R 7	基礎	自立	充実	R 5	R 6	R 7	基礎	自立	充実	R 7
①	わたしには、自分で選んだり、考えたりする力がついている。	生きる力の育成	85%	84%	86%	87%	81%	88%			81%	81%	83%	80%	80%
②	学校は、子供の多様性を認め、子供自身が主体的に考え、判断する場を大切にした教育活動を行っている。									新規項目	81%	83%	87%	78%	81%
③	わたし（お子さん）は、自分のよいところや直したいところがわかっている。	自己理解・自己肯定感	85%	89%	87%	91%	83%	86%	82%	85%	84%	81%	89%	83%	93%
④	わたしは、困ったことがあったとき、先生や友達に相談できる。	いじめ早期発見・早期対応	76%	80%	86%	91%	80%	84%							
⑤	わたしは、困ったことがあったとき、先生や友達と一緒に解決することができる。		77%	80%	88%	91%	80%	84%							
⑥	わたし（お子さん）は、いじめはどんな理由があっても許されないと思っている。	いじめの理解	新規項目	85%	89%	80%	95%	96%	新規項目	98%	99%	98%	97%	100%	95%
⑦	わたしのクラスや学年は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	いじめ未然防止	75%	69%	72%	68%	66%	82%							
⑧	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。	いじめの早期発見・早期対応							86%	86%	90%	96%	82%	89%	100%
⑨	わたしは、自分からあいさつをしている。	挨拶	87%	87%	89%	89%	82%	94%	89%	78%	84%	80%	83%	89%	53%

⑩	S Fでは、力いっぱい体を動かしたり、友達を応援したりすることができた。	学校行事	93%	93%	95%	95%	92%	96%	94%	90%	96%	97%	91%	97%	98%
⑪	M Fでは、友達と心をつなげて発表したり、演奏を楽しんだりすることができた。		93%	95%	94%	93%	95%	95%							
⑫	わたしは、よりよい学校や学級を作ることを目指して、様々な活動（委員会活動、係・当番活動、清掃など）に取り組んだ。	主体性・自律性	93%	92%	94%	93%	95%	95%							

- 《成果》 ・ いじめの発見、早期対応については、昨年度も肯定的な回答が高かったが、今年度はそれをさらに上回るよい結果となった。
・ 行事・部活動の運営について児童生徒、保護者共に概ね満足をしている。
- 《課題》 ・ 全体として15%程度の児童生徒が相談できない、解決していないと答えている。また、個々のいじめに対す意識は改善しているが、いじめを許さない風土づくりという点では（昨年度よりは若干改善されたが）依然として低い。
- 《改善案》 ・ 引き続き、子供たち同士、教員との関係性の改善に努めると共に、いじめの定義やなぜいけないのかを考える機会を定期的に設け、いじめを許さない学級・学校風土づくりを目指す。

たくましい心身をもつ子供			児童						保護者						教員
			R 5	R 6	R 7	基礎	自立	充実	R 5	R 6	R 7	基礎	自立	充実	R 7
①	わたしは、けがなく安全に生活している。	安全な生活	87%	84%	85%	85%	77%	91%	93%	82%	93%	93%	88%	94%	86%
②	わたしは、規則的な生活を心掛け、身体の健康を維持している。	規則正しい生活	87%	86%	79%	77%	80%	82%			80%	86%	78%	75%	88%
③	お子さんは、健康維持のために、進んで体を動かしている。	運動習慣		新規項目	80%	86%	82%	70%	71%	70%	70%	74%	68%	67%	81%
④	わたしは、部活動に積極的に取り組んだ。 (部活動に参加していない児童は記入しません)	部活運営	77%	97%	93%			93%							

情報教育															
①	わたしは、タブレットの使い方のルールを守っている。	情報モラル 指導	95%	95%	98%	97%	98%	98%	92%	74%	93%	96%	84%	96%	68%
②	わたしは、パスワードを秘密にしている。		97%	96%	97%	97%	97%	97%		84%		98%	98%	97%	98%
③	わたしは、安全を意識して、インターネットを使っている。		93%	97%	97%	96%	97%	98%	91%			93%	91%	89%	97%
特色ある活動・地域連携															
①	学校は、地域人材や地域の施設などの教育資源を活用している。	学校における 地域資源の活用							新規項目	80%	88%	93%	79%	87%	71%
②	わたしは、浜松市や住んでいる町のよいところを知っている。	地域社会との つながり			86%	86%	83%	88%	新規項目	新規項目	86%	86%	84%	88%	82%
③	わたしは、浜松市や住んでいる地域の行事に進んで参加している。		新規項目	新規項目	64%	73%	60%	55%	新規項目	63%	56%	63%	57%	46%	68%
④	学校は、お便りやホームページ、ブログ、さくら連絡網などで教育活動の様子を知らせている。	情報公開							87%	90%	89%	93%	84%	88%	79%
⑤	全年友好会では、楽しく活動することができた。	特色ある活動	87%	89%	87%	96%	77%	82%							

⑥	<p>学校は、全年友好会（縦割り活動） 中等部生徒による初等部SF・清掃ボランティア、5、6年自立期テスト、教員の小中交流などを通して、小中一貫校の良さを生かした取り組みをしている。</p>	<p>特色ある活動 （小中一貫）</p>							新規 項目	80%	89%	92%	82%	89%	90%
---	---	--------------------------	--	--	--	--	--	--	----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

- <<成果>> ・本校の特色ある活動である縦割り活動については、満足をしている児童生徒が多い。
 <<課題>> ・情報教育については、情報機器の操作に慣れるにつれて、校内のルールが守れない児童生徒が見られるようになった。
 ・住んでいる地域のよさを感じている児童生徒は多いが、地域行事への参加については、各家庭の方針もあり、依然として低い。
 <<改善案>> ・情報管理の必要性や節度ある利用、情報モラルについて学ぶ、「情報の時間」を毎月朝の活動の時間に実施する。

